

副理事長・専務理事 基本方針

副理事長 須藤 紳次郎
副理事長 関原 新之介
副理事長 久津間 貴也
専務理事 田代 宰

50周年を迎えたこの時期に現役として活動する我々は、青年会議所活動とは何かを今一度見つめ直さなければなりません。それは厚木青年会議所が次の50年もこの地域から必要とされる為に必要不可欠な事と考えます。

我々の活動は、他の何物にも代え難い誇るべき活動です。どの様な時代にあっても自分の為の活動では無く、他の為の活動、正に「自利利他」を地で行く活動に他ならないと考えます。ただ、その為には自らが行動し、その姿を見せ続けて行くしかありません。口で言う事は簡単ですが、実際に行動しなければならないのです。

近年、全国的に青年会議所で活動する在籍年数が減少している状態です。確かにバブル崩壊からリーマンショック等の経済低迷、さらに東日本大震災を始めとする日本を襲う大災害が頻発する中で、自身の仕事の時間を削り、家族との時間を削り、それでもひとりの為、まちの為に活動すると言う事は口で言うほど簡単な事ではありません。ただ、その様な中でも青年会議所の扉を開き、入会され活動されているメンバーは本当に誇るべき「宝」です。その様な「宝」の集まりである青年会議所は、いつの時代にも能動的に行動すべきであり、尚且つ、変革者たるべく行動して行かなければなりません。

2019年度、ここに名を連ねる副理事長、専務理事は厚木青年会議所のキャビネットとしてその存在意義を自覚し、白鳥理事長をしっかりと支え、会としての「和」を重要視しながらも、その一方で青年経済人として、また、JAYCEEとしてメンバーから目標とされる人材が育つ事が出来る、その様な素晴らしい会を作り上げる事を目指し、厳しさも持ち合わせて行きたいと考えます。

厚木青年会議所が、次の50年も次の100年も地域から必要とされる団体であり続けて行ける様、その礎を築ける一年間であり続けられる様、英知と勇気と情熱をもって全身全霊、誇りと覚悟をもって活動して参ります。